

第2回まちづくり推進町民会議を開催

まちづくりに意見要望

令和4年度第2回まちづくり推進町民会議(齊藤宏行議長)が10月23日(金)午前10時30分から美深町役場大会議室において開催され、委員17名と町理事者、各課長等あわせて33名が出席しました。会議では、令和3年度における第6次美深町総合計画の事業の実績、行政評価の結果、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の評価結果の報告を行い、それらの報告事項の後にまちづくりに関する意見交換を行いました。

会議の内容	◎第6次総合計画(令和3年度事業実績)
	◎行政評価結果(令和4年度(令和3年度事業))
	◎まちづくりの推進についての懇談

◎第6次総合計画(令和3年度事業実績)

令和3年度事業の実績について説明。計画35億446万8千円に対し、実績33億4,426万2千円となっており、95.4%の事業執行率、総合計画実施計画実績書に基づき5つの項目ごとに説明。
質疑なし

◎行政評価結果(令和4年度(令和3年度事業))

第6次総合計画に基づく29施策、159の事務事業からなる86の主要施策について町民委員会で協議し評価いただいた結果について説明。A評価が22施策(75.9%)、B評価が7施策(24.1%)となっており、施策のほとんどは「取り組みがなされている」「概ね取り組まれている」の評価。総合計画実施計画実績書に基づき5つの項目ごとに説明。
【質疑】委員～防災情報アプリの登録者はどれくらいか。
総務課長～当初200件ほどだったが、普及事業により870件ほど登録してもらうことができ、全部で約1,000件になっている。
【質疑】委員～スマートフォンを持っていない方はどうするのか、停電になったら防災端末が使用できない。
総務課長～スマートフォンを持っていない方については、従来どおり防災情報端末で対応していただくことになる。停電になった場合は使用できないため、それについては今後の課題である。国の調査では8割がスマートフォンを持っているとの調査結果があるため、美深町でもそれに近い数字の所有者でないかと思っている。

④まちづくりの推進についての懇談

- 特別養護老人ホームについて
- 病院について
- マイナンバーカードについて

※懇談内容の詳細は、次項に記載

＜出席委員からの主な質疑・意見＞

●特別養護老人ホームについて

委員～特別養護老人ホームが天塩川の近くと災害時が非常に危険なため、建替えについて長年検討しているが、時期はいつか。

保健福祉課長

～福祉社会と協議を進めている最中である。建替え時期については、総合計画に記載しているとおり、令和7年度建設予定である。

委員～自然環境が変動しており、天塩川の堤防に隣接しているのは危険で、建物も劣化しているので、少しでも早く建替えを進めていただきたい。

●危機管理について

委員～全道町村議会研修会が札幌で行われていたが、その時に1台のバスで移動していたが、事故が起きた場合議会が停止してしまう可能性がある。危機管理のため2台に分かれて移動するようにしては。

議会事務局長

～経費の関係があるので、分乗することはなかなか難しいが、議員に対して意見があったとことを伝え検討する。

委員～万が一のことを考えて分乗していただきたい。町長と副町長についても、分乘していただきたい。

●美深厚生病院の通院について

委員～親が厚生病院に通院しているが、予約制になったのに、帰りが遅い。医師の人数が少ないのか、やり方が悪いのか。

保健福祉課長

～そのような声があるため、現在、病院の中で改善に向けて検討している状況。

●マイナンバーカードについて

委員～カードの普及状況は。更新は必要か。
住民生活課長

～美深町の取得率はかなり低いと報道されている。3月末で1190名だったが、8月末で1429名、9月末で1493名と40%と増えてきている。保険証も兼ねるとの報道もあり、取得者が増えている状況。申請から取得まで1月半かかるので、3-4名の希望があれば事業所に伺いますので、ご連絡ください。

●医療整備について

委員～人口が減り、高齢者が美深町を離れていくのは医療が心配だからだと思う。個人病院がなくなり、厚生病院の存続も不安があり、子供がいる都会に転出してしまふ。今後も医療を整備する必要がある。

町長～人口減少の原因の一つとして医療体制の心配はある。個人病院もなくなったため、厚生病院の医師を2人から3人体制になるよう院長と協議し努力していく。